



「高校生海外雄飛プロジェクト」に参加するハワイと沖縄の高校生ら。2週間交流を深める＝7日、那覇市久米の県青年会館



ハワイ県系高校生ら 再会に喜び

読ん
でる
NIE

県教育委員会主催の国際交流事業「高校生海外雄飛プロジェクト」に参加するため、ハワイ県系人の高校生ら15人が6日夜に来沖した。歓迎会が7日、那覇市久米の県青年会館であった。来沖した参加者は2月にハワイを訪問した沖縄の高校生を受け入れた県系人で、双方の生徒らは約3カ月ぶりの再会を喜んだ。ハワイの生徒らは沖縄側の高校生宅

交流事業で来沖

に約2週間ホームステイし、県内の高校にも通うなどして交流を深める。同プロジェクトは、前身のハワイ沖縄高校生交流事業から数えて25周年を迎えた。ハワイ沖縄連合会(HUOA)によると、双方の参加者は計1人を超える。祖父母が沖縄市出身で、ミリラニ高校のシヨン・オオシロさん(16)は「沖縄で新しい友達をつくりたい」と期待を膨らませていた。